

北海道社会福祉士会 スーパーバイザー プロフィール

ふりがな 氏 名	いのうえ まさのり 井 上 雅 敬
所属支部	十勝地区支部
☐ 第1号 認定上級社会福祉士 ☐ 第2号 認定社会福祉士の更新者 ☐ 第3号 認定上級社会福祉士に準じる者 ☒ 第4号（1） 社会福祉士 ☐ 第4号（2） 施設機関等において職員のスーパービジョンを担当している者 ☐ 第4号（3） 教員等でスーパーバイザーとして豊富な経験と実績のある者	

【職務等経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

H4 社会福祉協議会入職
H4～6 地域福祉活動コーディネーター業務
H7～9 在宅介護支援センターソーシャルワーカー
H10～16 在宅福祉サービス事業担当業務
H16～17 在宅介護支援センターソーシャルワーカー 居宅介護支援事業所介護支援専門員
H18～23 地域包括支援センター社会福祉士
H24～ 地域福祉課長 地域福祉活動全般業務
H25～29 権利擁護成年後見センター業務
H31.3 釧路市社会福祉協議会退職
H31.4～ 北海道入職 北海道帯広児童相談所勤務

【職能団体等における活動経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

釧路社会福祉士会における幹事
北海道社会福祉士会釧路地区支部幹事 ～H26
地域包括支援センター支援委員会委員（H19～H25）

【最終学歴】

平成4年 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 卒業

【資格・特技等】

資格：社会福祉士・精神保健福祉士介護支援専門員

【ソーシャルワーク実践において大切にしていること】

本人の意思判断能力に合わせた、本人の意思確認を忘れないようにすること。
一人で抱え込まないでチームで支援していくこと。

【スーパービジョンの経験】 ※直近の経験から記載してください。

- ①社協コミュニティーワークにおいて、職場同僚へ実施
- ②権利擁護成年後見センター 同僚へ実施。

【スーパーバイザーへの一言】

社会福祉士としての実践を言語化していくことが求められている現在、スーパーバイザー、バイザー共に実践力を高めていきたいですね。

【条件】

① 活動地域について

同支部内 ・ 同支部以外 ・ その他（ ）

② 受け入れ可能人数について

_____ 1 名 可能

③ その他 （セッション可能曜日、時間帯、バイザーへの連絡方法などの条件について、出来るだけ詳しく記載ください）

仕事業務時間外 （平日夜間、土日等休日）の中で応相談